

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

ドコサン酸のオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

7 B 7 6 0 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年4月採択）の改訂版であるガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」（1997年4月提案）に準拠して実施した。

- 1)被験物質： ドコサン酸
- 2)暴露方式： 半止水式（週に3回，試験液の全量を交換）
- 3)供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間： 21日間
- 5)試験濃度(設定値)： 対照区，助剤対照区，0.30，0.55，1.00mg/L（試験可能最大濃度）
（公比 1.8，助剤濃度一定：40.0 mg/L，HCO-40 および DMF使用）
- 6)試験液量： 1容器（連）につき 80 mL
- 7)連数： 10容器（連）／濃度区
- 8)供試生物数： 10頭／濃度区（1連につき1頭）
- 9)試験温度： 20±1℃
- 10)照明： 16時間明／8時間暗
- 11)被験物質の分析： GC法

結 果

1)試験液中の被験物質濃度

暴露期間中に測定した試験液の被験物質濃度が、設定値の±20% を越えたため、各影響濃度の算出には実測値（時間加重平均値）を採用した。

2)21 日間の親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) :

>0.84 mg/L

3)21 日間の 50% 繁殖阻害濃度 (EC50) :

>0.84 mg/L

4)21 日間の最大無作用濃度(NOEC) :

>0.84 mg/L

5)21 日間の最小作用濃度(LOEC) :

>0.84 mg/L